

半年の思い出

魏 国棟（中国・交換留学生・三東師範大学）

皆さん、こんにちは。私は魏国棟と申します。中国の山東師範大学から来た交換留学生です。

私は今年の四月十日に和歌山に来ました。いつの間にかもう五か月経ちました。本当に速いものです。でも、速いというかんじがあるのは、やっぱりこの半年の生活は充実していて楽しかったからだと思います。

この半年の生活といえば、あちこちへ遊びに行ったり、いろいろな日本の伝統的な活動に参加したり、日本人の先生や友たちと交流したりしたことを思い出します。そのなかで最も面白いのは homestay だとおもいます。今から見れば、日本に来てから、初めて体験したことが多いです。Homestay もそうです。泊まる家は高野山の近くにありますが、私たちはまず高野山へ旅行に行きました。朝早くから和歌山 JR 駅から出発して、橋本駅で先生と集合して、電車で高野山へいきました。電車はずっと山の中を走って、窓から景色がすごくきれいです。電車の進行とともに、高度もだんだん上がって、谷の中、緑の間に赤い民家が点々と並んでいます。このような景色を見て、心から気持ちよかったです。

高野山のしたで、ケーブルに乗り換えました。あのようなケーブルは中国のと全然違いますから、私は写真をいっぱい撮りました。ケーブルの終点はバス停です。バス停から奥の院まで、道がすごく曲がりくねっています。でも、その道はバスしかないので、あまり危なくないです。

高野山にはお寺や院がおおくて、先ず、私たちは奥の院へ行きました。奥の院は非常に広くて、立派な木がいっぱいあります。その木の下に旧家や会社や歴史有名人の墓が次々に並んでいます。私は日本の戦国時代の武将たちのことに興味がありますから、このチャンスの中に、上杉謙信、石田三成、織田信長の墓や神社を拝見しました。次に、私たち金剛峯寺へ行きました。高野山の一番立派なお寺として、すばらしい景色は勿論、長い歴史も持っています。秀治が自殺した部屋も完全に保存しています。その紹介を読んで、いまでもその悲しい気持ちを感じられます。



高野山から下りて、泊まる家に行きました。田舎にありますから、稲がいっぱいあります。きれいなところです。私たちが着いたときはもう夕方でした。向こうの藤井お母さんは晩御飯を準備しています。田舎の夜はすごく静かで、虫の鳴き声を聞きながら、皆一緒にご飯を食べました。ご飯のあと、藤井お母さんお父さんといろいろしゃべりました。私はいろいろな中国と日本の違うところを話して、お父さんから日本人の生活文化もいろいろ聞きました。よく勉強になりました。翌日、私たちは和歌山に戻ってきました。でも、この楽しい homestay は絶対忘れられないです。



この半年の留学生活を通じて、私は中国と日本のいろいろ違うところに気づきました。それで、中日交流の必要性も意識されました。今、私はがんばって日本語を勉強しています。これからも、日本語を利用して、できるだけ中日交流に自分の力を尽くしたいです。